



本年8月に着工予定の本庁舎改築事業は、誰もが利用しやすく親しまれる庁舎となることをめざしています。

この度、よりわかりやすく利用しやすい庁舎となるよう、昨年度まとめた基本設計の内容を修正しました。

今号では、そのおもな項目について、お知らせします。

●問合せ→市新庁舎準備室 ☎内線 2 2 0 9

平面計画の修正

「すべての人が利用しやすい庁舎」をめざし、本庁舎改築工事評価選定委員会や市民ワークショップの意見をもとに、動線や見通しの改善のほか、窓口機能の充実など使いやすさの向上を図ります。

おもな修正点

- 配置の見直し
会議室やトイレなどについて、わかりやすい場所となるよう見直ししました。
- 機能の充実
相談室を増やしたほか、コミュニティスペースや議場の家具収納スペースを確保しました。
- その他
鉄塔や「陽なたの広場」の配置を見直しました。

設備計画の修正

「環境にやさしく、経済的な庁舎」をめざし、再生可能エネルギー（地中熱）の利用による環境負荷・消費電力の低減、エネルギーの地産地消を図ります。

また、土別ふるさと大使の松井エイコさんが制作する壁画の設置も企画しています。



完成予想図〈鳥瞰〉



完成予想図〈北西から〉

計画変更後の配置

〈3階平面図〉

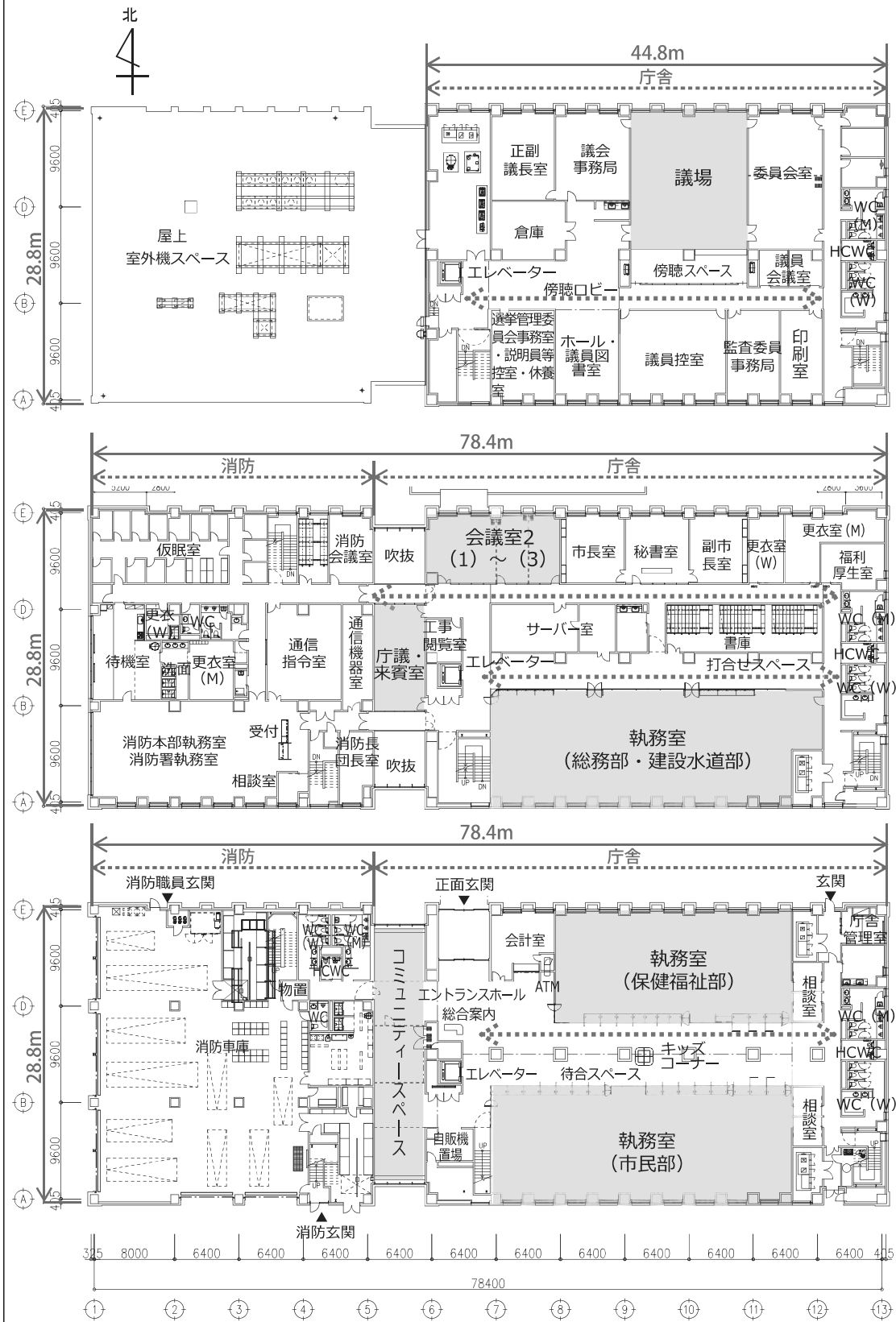
- 3階のおもな変更内容
- ・直線的な動線と見通しを確保
- ・議場まわりに必要な室を配置
- ・見通せる場所にトイレを配置

〈2階平面図〉

- 2階のおもな変更内容
- ・執務室カウンター前にスペースを確保
- ・会議室の配置を集約
- ・吹きぬけを境界線として、市役所と消防を明確に区分

〈1階平面図〉

- 1階のおもな変更内容
- ・執務室、カウンター前スペースを確保
- ・見通せる場所にトイレを配置



このほか、市民ワークショップにて、市民スペースの使いやすさや案内サインのわかりやすさなど多くのご意見をいただきました。

いただいた内容を精査し、今秋にワークショップを開催するなど、あらためて市民意見を反映する機会を設け、2020年の供用開始にむけた準備を進めます。